

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)																		
ET45H008		児童心理療法演習(Seminar on Child Psychotherapy)					特別支援教育																		
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員																			
選択	2	1	大学院教育学研究科	前期		氏名 田中新正・古賀精治 E-mail skoga@oita-u.ac.jp 内線 7521																			
授業の概要	情緒障害・発達障害のある子ども達に関する最近の研究・実践論文を熟読し、効果的な心理的サポートのあり方について討議し理解を深める。																								
具体的な到達目標																DP等の対応(別表参照)									
目標1 情緒障害・発達障害のある子どもに関する専門的な研究・実践論文を読み取れるようになる。																1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標2 情緒障害・発達障害に関する新しい知識について述べるができる。																									
目標3																									
目標4																									
目標5																									
目標6																									
目標7																									
目標8																									
目標9																									
目標10																									
授業の内容																									
1 情緒障害の種類																									
2 不登校																									
3 場面緘黙																									
4 チック症																									
5 発達障害児をどうとらえるか																									
6 学習障害																									
7 注意欠陥/多動性障害																									
8 アスペルガー障害等																									
9 遊戯療法																									
10 行動療法・認知行動療法																									
11 箱庭療法																									
12 情緒障害のある児童・生徒の家族への支援																									
13 発達障害のある児童・生徒の家族への支援																									
14 特別支援教育コーディネーターの役割と課題																									
15 特別支援学校のセンター的機能																									
ラック	A:知識の定着・確認	発表およびディスカッションを中心に行う。										工	その	他の											
ニテ	B:意見の表現・交換																								
ンイ	C:応用志向																								
グ	D:知識の活用・創造																								
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	授業内容に関わる論文等を精読しておくこと(15h)。																							
	事後学修	授業で扱った内容や関連する課題について論文、書籍、インターネット等により「調べ学習」に取り組むこと(15h)。																							
教科書	特に使用しない。適宜、必要に応じてプリントを配布する。																								
参考書	参考書については、できるだけ新しいものをその都度紹介する。																								
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10													
	討論への参加状況等の平常点	50%																							
	学期末レポート	50%																							
注意事項	なし。																								
備考	なし。																								
リンク																									
	URL																								

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	臨床心理士
実務経験を いかした教 育内容	スクールカウンセラーの経験に基づきアドバイスを行う。